

議 事 次 第

4. 資 料 委9-1 第8回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
- 委9-2 宇宙ステーション計画の安全に関する調査審議について（案）

第 8 回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨（案）

1. 日時 平成 4 年 6 月 3 日（水）
午後 2 時～ 2 時半
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
(2) 地球資源衛星 1 号（J E R S - 1）の打上げ結果の評価に関する審議について
4. 資料 委 8-1 第 7 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委 8-2 地球資源衛星 1 号（J E R S - 1）の打上げ結果の評価に関する審議について（案）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理

久良知 章 悟

“ 委員

野 村 民 也

“ “

曾 山 克 巳

“ “

田 島 敏 弘

関係省庁

運輸省運輸政策局次長

向 山 秀 昭（代理）

“ 気象庁総務部長

山 下 哲 郎 “

郵政大臣官房審議官

大井田 清 “

事務局

科学技術庁研究開発局長

井 田 勝 久

“ 長官官房審議官

沖 村 憲 樹

“ 研究開発局宇宙企画課長

興 直 孝

他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第 7 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委 8 - 1）が確認された。

(2) 地球資源衛星 1 号（J E R S - 1）の打上げ結果の評価に関する審議について

事務局から、資料委 8 - 2 に基づき説明が行われた後、原案どおり決定された。

宇宙ステーション計画の安全に関する調査審議について (案)

平成4年6月10日

宇宙開発委員会決定

1. 審議の趣旨

我が国の有人宇宙活動については、国際協力による宇宙ステーション計画への参加等を通じて、有人宇宙活動に必要な基盤技術の修得・開発に努め、もって長期的な方向としての我が国独自の有人宇宙活動の展開のための基盤を形成することとされている。

このため、平成10年度を目標に宇宙ステーション取付型実験モジュール(JEM)の開発等が進められているところであり、この開発、運用等の各段階における安全基準の明確化とともに、これらの安全基準の適正な適用、安全に関するデータベースの構築、安全に係る情報の流通の円滑化等安全に配慮した開発の推進が求められており、これにより有人宇宙活動の展開のための基盤の形成に資することが期待されている。

以上のような状況を踏まえ、宇宙ステーション計画の安全に関する調査審議を行うこととする。

2. 調査審議事項

宇宙ステーション計画の安全に関する事項

3. 調査審議の進め方

調査審議は、安全評価部会において行うこととし、必要に応じて宇宙開発委員会に報告を行うものとする。

(参考)

宇宙開発委員会安全評価部会構成員

(部会長)

吉田 忠雄

法政大学工学部教授

(部会長代理)

長洲 秀夫

日本科学技術情報センター監事

井口 雅一

東京大学工学部教授

岩崎 民子

科学技術庁放射線医学総合研究所生物研究部長

河村 光隆

通商産業省工業技術院化学技術研究所安全化学部長

栗林 忠男

慶応義塾大学法学部教授

小林 繁夫

東京理科大学工学部教授

近藤 恭平

東京大学工学部教授

坂田 八昭

警察庁科学警察研究所法科学第二部長

塩見 弘

中央大学理工学部教授

下平 勝幸

宇宙開発事業団理事

長谷川和俊

消防庁消防研究所第二研究部長

林 理三雄

郵政省通信総合研究所次長

雛田 元紀

文部省宇宙科学研究所教授

谷島 一嘉

日本大学医学部教授

山中 龍夫

科学技術庁航空宇宙技術研究所宇宙研究グループ 総合研究官